

学校法人 了徳寺学園 柔道部新聞

グランドスラム東京大会秋本が優勝



73 kg級優勝の秋本啓之(左から 2 番目)

2015 年 12 月 4 日(金)～6 日(日)、東京体育館にてグランドスラム東京大会が開催され、了徳寺学園柔道部より 5 名が出場しました。この大会は日本で開催される唯一の国際大会であり、世界各地から強豪選手が集まり、レベルの高い戦いが繰り広げられました。結果、73 kg級の秋本啓之が昨年引き続き 2 連覇を達成しました。詳細は以下のとおり。

【結果詳細】

73 kg級 秋本 啓之 : 優勝

初戦、開始早々の巴投で一蹴した後、順調に準決勝まで駒を進めます。迎えた準決勝では、マスターズ 2 位のタタラシビリ(グルジア)と対戦します。序盤から秋本が先に先に積極的に攻め、相手に指導が 2 度与えられ、接戦をものにして決勝に進出します。決勝では、世界選手権銅メダリストで今一番勢いのある若手、韓国のアンと対戦します。この試合でも秋本が主導権を握り、先に先に技を出し、一分が過ぎたところで、袖釣込腰による技有を先取します。その後、相手の反撃を指導 2 までにとどめ、昨年に引き続き、連覇を達成しました。

この日の秋本の戦いぶりは危なげなく、持ち味である攻撃柔道を終始展開し、見事連覇につながりました。悲願のオリンピックにつないでいけるよう、今後の試合に取り組んでいかせたいと思います。



背負投で攻める秋本(左)

1 回戦	秋本 啓之	○	一本勝(巴投)	エストラダ(キューバ)
2 回戦	〃	○	一本勝(合技:背負投・袈裟固)	シュワルノウィスキ(ポーランド)
準々決勝	〃	○	一本勝(背負投)	ヴァン ティッヘルト(ベルギー)
準決勝	〃	○	一本勝(袈裟固)	タタラシビリ(グルジア)
決勝	〃	○	優勢勝(技有:袖釣込腰)	アン(韓国)



60 kg級 志々目 徹 :3 位

世界選手権の惜しさを晴らすべく今大会に臨んだ志々目は、初戦から積極的に攻め、粘り強く勝ち上がります。迎えた準決勝、2014年世界銀メダリストのムドラノフ(ロシア)と対峙します。この試合では両者指導の後、場外に押し出しに來られ、回り込んだものの、志々目に場外指導が2度与えられます。その後、相手に押し出しの指導が与えられますが、追いつくことができず、3位決定戦に回ります。世界選手権の3位決定戦と同じカードとなったブラジル・キタダイとの対戦は、試合終了間際に得意の内股が見事に決まり、3位を確保しました。組ませてくれない相手に対して粘り強く戦いましたが、あと一步追い込み切れませんでした。今後の試合で結果につなげるべく、課題に取り組んでいかせたいと思います。

内股で攻める志々目(左)

2 回戦	志々目 徹	○	優勢勝 (有効:大外刈)		チェ インヒュク (韓国)
3 回戦	〃	○	優勢勝 (技有:大外刈)		ガリゴス(スペイン)
準々決勝	〃	○	優勢勝 (指導 2)		チャマルティン (スイス)
準決勝	〃		優勢負 (指導 2)	○	ムドラノフ(ロシア)
3 位決定戦	〃	○	一本勝 (内股)		キタダイ (ブラジル)

52 kg級 西田 優香 :5 位

初戦から得意の小内刈りと背負投を軸にしぶとく勝ち上がります。準々決勝で、ドイツのクラーに対し、指導1で競り勝ち、準決勝で宿敵、中村(三井住友海上)との対戦を迎えます。この試合では序盤から西田が先に先に技を出し、場外に出た相手に指導が与えられるかと思われたところ、なぜか西田に指導が与えられます。直後に訂正が入って中村に場外指導が与えられますが、西田への指導もなぜかそのまま残ります。その後も西田が技を出し、小内刈りで中村を大きく崩します。しかしその後、なぜか西田に指導が与えられ、指導1-2でリードを許します。挽回せんと攻めますが、試合はそのまま終了し、非常に悔しい敗戦となります。3位決定戦に回るも残念ながら涙をのみ、5位に終わりました。動きもよく、競り合いもものにできていただけに、準決勝での審判の判断には悔しさが残るものとなりました。



2 回戦	西田 優香	○	一本勝(合技:小内刈・小内刈)		スンドベリ (フィンランド)
3 回戦	〃	○	一本勝(合技:背負投・背負投)		スタンケヴィチ(アルメニア)
準々決勝	〃	○	優勢勝 (指導 1)		クラー (ドイツ)
準決勝	〃		優勢負 (指導 2)	○	中村 (日本:三井住友)
3 位決定戦	〃		優勢負 (内股・技有)	○	ウラニー (フランス)



78 kg級 ヌンイラ 華蓮 : 7 位

初戦で、今年の世界選手権 2 位の強豪を大内刈と袈裟固による合技で下し、準々決勝でポルテーラ(ブラジル)と対戦します。指導でタイに並んだ後、相手の掛け逃げぎみの攻撃に消極的指導をもらい、指導 3-2 で惜敗し、敗者復活戦に回ります。敗者復活最終戦でも指導の差で涙をのみ、メダルには届きませんでした。敗れた 2 試合とも、十分勝利できた試合ただけに、あと一步の詰めができるよう、取り組んでいかせたいと思います。

2 回戦	ヌンイラ 華蓮	○	合技 (大内刈・袈裟固)		ベルナベウ(スペイン)
準々決勝	〃		優勢負 (指導 3)	○	ポルテーラ(ブラジル)
敗復最終戦	〃		優勢負 (指導 2)	○	ボルダー(イスラエル)

78 kg級 緒方 亜香里 : 2 回戦敗退

緒方は初戦、タークス(ウクライナ)を腕絡で下しますが、2 回戦でロンドン五輪銀メダルのギッポンズ(イギリス)に対し、一瞬の隙を突かれてしまい敗退となりました。終始、緒方のペースで試合が展開され、指導差の勝利と思われた終了間際、相手の攻撃を不用意に受けてしまい、ほぼ手中に収めていた勝利を土壇場で逃してしまいました。準備した相手の対応策を徹底でき、最後の最後まで全く相手にペースを握られなかっただけに、一瞬の隙を与えたことが悔やまれます。



1 回戦	緒方 亜香里	○	一本勝 (腕絡)		タークス (ウクライナ)
2 回戦	〃		一本負 (袈裟固)	○	ギッポンズ (イギリス)

52 kg級 志々目愛(来年度入社) : 2 位

来年度入社予定の志々目愛 (60 kg級志々目徹の妹) は得意の内股を武器に、順当に勝ち上がります。準々決勝では、世界ランク 5 位のウラニーを優勢勝ちで退けます。続く準決勝でも、2013 年世界選手権銅メダリストの橋本 (コマツ) に対し豪快な内股で技有を奪い、決勝へ駒を進めます。迎えた決勝戦では、現世界選手権覇者の中村 (三井住友) に僅差で敗れたものの、堂々銀メダルを獲得しました。今後が楽しみな選手が来年入社します。応援のほどよろしくお願いたします。

